

再びアメリカを健康に”なのに？トランプ政権「医療予算削減」 難病の治療法研究にも影響が… 新型コロナ後遺症患者に不安

12/5TBS ニュース



<https://news.yahoo.co.jp/articles/fa5311db06e7d84262231f92b4cb6b9f82067fbe>

アメリカで数百万人以上が苦しんでいる「新型コロナ後遺症」。まだ解明されていない治療法研究の壁となっているのが、トランプ政権による医療予算の削減です。

テーブルの上に置かれた大量の薬。

コロナ後遺症患者 レイチェル・ビールさん

「毎日、10種類ほどの薬を飲みます」

アメリカ南部バージニア州に暮らすビールさん。重度の新型コロナ後遺症の患者です。

コロナ後遺症患者 レイチェル・ビールさん

「疲労感、呼吸困難、脳がぼやけてしまう、全身の痛みなど、この4年、様々な症状に悩まされています」

治療法や病気のメカニズムが解明されていないため、サプリメントで症状を緩和させているといいます。

取材中も酸素吸入や十分な休息が欠かせません。

コロナ後遺症患者 レイチェル・ビールさん

「私は働けなくなりました。理想の母親として家族を支えられていません」

いま、ビールさんが最も心配しているのが、トランプ政権による医療予算の削減です。

アメリカ トランプ大統領

「私たちの使命『再びアメリカを健康に (MAHA)』は、歴史的なタイミングを迎えている」

トランプ大統領は「メイク・アメリカ・ヘルシー・アゲイン」＝「再びアメリカを健康に」をスローガンに健康政策の充実を訴えています。

ただ、トランプ政権にはワクチンの懐疑派も多く、コロナ対策には消極的で、後遺症患者

の支援や研究費なども大幅に削減しました。

こうしたコロナ関連予算の削減は、後遺症の研究にも影響を与えています。

ここ、**バージニア大学ではコロナ後遺症の原因と治療法を探る、世界最先端の研究が進められています**が…

バージニア大学 ジェ・サン教授

「数か月間、(政府の) 研究資金が停止されました」

予算削減の影響で研究計画に遅れが生じたといいます。

バージニア大学 ジェ・サン教授

「米の大学研究者として、コロナ後遺症治療への政府支援の継続を願っています。なぜなら、治療法の発見に極めて重要だからです」

さらにトランプ大統領は、治療法研究の司令塔役だった厚生省の担当部門を今年6月、突如、廃止しました。トップを務めてきたサイモン博士が、廃止が決まった後、私たちの取材に応じていました。

元米厚生省コロナ後遺症対策部門責任者 イアン・サイモン博士

「(現在の状況は) 患者にとって、治療法開発や研究成果を待つ時間が、さらに延びることを意味します」

コロナ後遺症に苦しむビールさん。**政府のコロナへの関心が薄れ、「後遺症患者は忘れ去られるのでは」と不安を訴えます。**

コロナ後遺症患者 レイチェル・ビールさん

「政府には、コロナ後遺症を優先課題にしてほしい。患者には治療法が必要なんです」

トランプ政権の医療政策は本当に健康をもたらすのか、患者や医療現場の不安は高まるばかりです。

TBS テレビ